

## 第9回 心を育てる地域と世代部会

### 【摘録】



日時：平成25年8月20日(火)18:15~20:15

場所：宮前区役所4階第1会議室

【進行：大槻部会長】

#### 1 出席確認

欠席委員：太田委員

#### 2 本日の議事内容の確認

別紙配布資料に基づき、部会審議終着点のイメージの共有、課題解決提案の具体的な実施内容の検討を行うことを確認

#### 3 具体的な提案の検討

意見交換→別紙のとおり意見集約

#### 4 今後のスケジュールについて

第10回 9月26日(木) 18時15分~20時15分 区役所4階第1会議室

第11回 10月16日(水) 18時15分~20時15分 区役所4階第1会議室

# テーマ：心を育てる地域・世代間交流

## 部会提案について具体的な内容の検討

### 提案 分野A：世代交流に取り組む諸団体へのサポートの実施

#### ■風の泉の九九暗唱支援活動へのサポート

→団体のニーズに応える支援内容とする。次回の会議で関係者を招き、改めてヒアリングと支援内容の調整を行う。

- 各地域での自主運営に向けた支援が良いのではないか。広報支援などになると思う。(大槻・平井ほか)
- 有馬小の活動は中学生も参加していた。活動のふり返りでは参加者みんなで共に考えていく雰囲気があった(田浪)

#### ■学校支援センターの機能強化

→課題としてはあるが、関係スタッフに努力を促すに留める。

- 活動者が登録者の半分の実態。登録者を増やす取組が必要だ。関係者でまずもっと努力・工夫を(平井・直本)
- 特技がないとボランティア登録できないイメージがある。実際の現場ニーズをうまく伝える広報が必要だ(田浪・豊島)
- エントリーシートやチラシにまず改善の余地がありそうだ。(田浪・平井・大槻ほか)

### 提案 分野B：既存のイベントでの世代交流のしかけの企画と実践

#### ■「チャレボラ」で交流会の開催

→区代表の実行委員の太田委員から市社協に交流会開催の投げかけを行う。(どう受け止められるかは分からない)

- 現場見学で世代交流を感じたが、子育て関連で男性スタッフの少なさ等や視点等も気になった。(宮崎・大槻)
- 内申目的等で関わる子ども多い→時間をかけてでも、本人が気づくきっかけを与えることが重要だ。幅広い体験・世代交流の機会にはなっている。(平井・直本)

### 提案 分野C：世代間の対話につながる新たなプログラムの企画と実践

#### ■世代間で交流する対話の場を企画

→ネイチャーゲームを活用した取組は、公園を場としたプログラムを検討している環境人部会に引き継ぐ。

→キャンペーン型の取組について、次回以降具体的な検討を進める。

- 様々な「被害体験」を語る場はどうか。どの世代でも対応できるのではないかと。(直本)
- 子文の運営協議会やお祭りは、非常に良い他世代交流の場所になっている。そこから起こしてはどうか。(豊島・平井)
- 世代交流に資するお祭りや様々な活動などは地域でかなりやられている。統括的にどうするかというと難しい(山下)
- 既存の参加者、固定の人ばかり集まるのではなく、新たな人をどう巻き込むか。
- キャンペーン的に既存の良い取組の紹介、世代交流活動としての意識付け、新たな参加呼びかけなどを意識的に強化・展開してはどうか。(山下、コンサルタント)
  - ⇒麻生区で一定のキャンペーン期間に開催する企画を、ひとまとめの企画として紹介した事例がある(事務局)
  - ⇒期間は特に限定せず年間通して行えた方がよい(平井)

### 提案 分野D：活動の記録、市制100周年に向けたアーカイブ

#### ■Cの対話を記録に残す

#### ■アーカイブ事業の実施

→今回は特に検討せず。分野Cの討議がある程度まとまった段階で検討することとした。

## 区民会議フォーラムの企画提案

○参加者が世代交流を体験する場を設ける。何か一緒につくって食べる企画はどうか。食を通じた世代交流企画。

例：区の食材活用、火おこし体験、C級グルメメニュー試作(直本、平井)